

科目・コース（ユニット）名： 法医学

英語名称：Forensic Medicine

【担当責任者】 原田 一樹（法医学講座教授）

【連絡先】 legalmed@fmu.ac.jp（講座代表）、k-harada@fmu.ac.jp（原田）

【開講年次】3 年 【学期】通年 【必修／選択】必修

【授業形態】講義、演習

【概要】

医師として知っておくべき法医学的知識（死後変化、損傷、異常環境、薬毒物検査、個人識別、人の死に関する法律等）について学ぶ。

【学習目標】

- 1) 人の死の定義と、人の死や加害行為、虐待等に関連する法律について説明できる。
- 2) 死因を適切に診断（判断）し、死亡診断書・死体検案書等の文書を正しく記載・交付できる。
- 3) 人の死体現象（死後変化）を列挙し、その意義を説明できる。
- 4) 外因とその結果生じた所見との関係を挙げて、その外因と死因との因果関係の有無を説明できる。
- 5) 死体の外表所見の診断的意義を説明できる。
- 6) 損傷所見を正しく記録し、その成傷機序について説明（推察）できる。
- 7) 窒息に特徴的な死体所見を列挙でき、その発生機序を説明できる。
- 8) 内因性急死をきたす主な器質的疾患の臨床的特徴を理解し、解剖における肉眼的・病理組織学的所見を説明できる。
- 9) 乳幼児の突然死の概念を理解し、問題点を列挙できる。
- 10) 小児虐待の問題点を理解し、診察時などに虐待を疑うべき所見を列挙することができる。
- 11) 法医実務で重要な薬毒物の毒性機序を説明でき、臨床・死体所見から中毒起因物質の推定ができる。
- 12) 依存性薬物の基礎的知識および法律的問題点を理解できる。
- 13) 誠実で礼儀正しい態度で、死者に対する敬意を持って講義・演習に参加することにより、信頼される医師となるべき姿を形成できる。

【教科書】

・法医学（改訂第4版）福島弘文編 2022年1月発行 南山堂

【参考書】

- ・NEW エッセンシャル法医学（第6版）高取健彦監修 2019年3月発行 医歯薬出版
- ・標準法医学（第7版）高津光洋監修 2012年12月発行 医学書院
- ・死体の視かた 渡辺博司・齋藤一之著 2010年2月発行 東京法令出版

(その他、洋書も含め、お勧めの参考書がいくつかあるので、詳しくは法医学講座を気軽に訪問して問い合わせして下さい)

【成績評価方法】

1. 評価は筆記試験、出席状況、受講態度を合わせて総合的に行い、60 点以上を合格とする。
2. 「社会医学」の最終成績については「衛生学・予防医学」「公衆衛生学」「疫学」「法医学」「衛生学・公衆衛生学・疫学実習」を個別に判定し、すべての判定基準を満たした場合に合格とする。不合格の場合、次年度における再履修の範囲は「社会医学」を構成する全ての開設科目とする。
3. 本学医学部の規定に基づき、法医学の全授業（講義および演習）のうち 2/3（3 分の 2）以上出席していない学生については、成績評価の受験資格を与えない。

【学習上の注意事項】

1. 授業で供覧する画像は、いかなる理由によってもこれを撮影またはダウンロードするなどして取得することを禁止する。授業後更に閲覧を希望する場合は、授業の後で担当教員に申し出ること。取得が発覚した場合には、本学学則第 34 条第 1-4 項による対応が取られる。
2. 授業で理解できない点があった場合には放置せず、授業終了後に担当教員に必ず申し出ること。

【垂直的統合授業の実施内容】

法医学では、学習分野の多くがそれまでに履修した基礎系科目での学習によって得られた知識を前提としている。また、臨床系科目との強い連関がある。例えば、薬毒物中毒の講義では、生理学、生化学及び薬理学の基礎知識がないと中毒の病態を理解できない。薬毒物中毒の知識は、救急救命や精神神経科等の臨床現場での適切な診断と治療につながる事となるほか、内科や小児科をはじめとするあらゆる臨床科目での症候論や鑑別診断にも直接関係する。

【水平的統合授業の実施内容】

法医学の人体への関わりは、全身・全器官系の多岐にわたる。例えば、頭部外傷の講義では、頭部の解剖学的・組織学的知識を動員するとともに、外傷の発生機序や脳血管疾患に関する病理学的知識を学ぶことになる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

これまでに当講座で実施された法医解剖事例により、実際的で多彩な情報を学ぶことが可能である。特に本学医学部附属死因究明センターで撮影された死後 CT 画像は、受傷機序や病態の考察に有益な教材である。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2026/5/25	月	1	(講) 法医学入門	原田
2	2026/5/25	月	2	(講) 損傷 1	原田
3	2026/5/25	月	3	(講) 損傷 2	原田
4	2026/6/1	月	1	(講) 損傷 3 (頭部外傷)	原田
5	2026/6/1	月	2	(講) 窒息 1	西形
6	2026/6/1	月	3	(講) 窒息 2	西形
7	2026/6/15	月	1	(講) 異常環境 (焼死、凍死を含む)	原田
8	2026/6/15	月	2	(講) 内因性疾患 1	原田
9	2026/6/15	月	3	(講) 内因性疾患 2	原田
10	2026/6/22	月	1	(講) 法医中毒学 1 (仮題)	武田
11	2026/6/22	月	2	(講) 法医中毒学 2 (仮題)	武田
12	2026/6/22	月	3	(講) 交通事故の法医学	加藤
13	2026/6/29	月	1	(講) 臨床医学と法医学：医療事故・過誤	西形
14	2026/6/29	月	2	(講) 小児法医学 (児童虐待含む)	原田
15	2026/6/29	月	3	(講) その他の法医学トピック & 質疑応答	原田
16	2026/11/2	月	1	(講) 法医学講義 1 (仮)	鵜沼
17	2026/11/2	月	2	(講) 法医学講義 2 (仮)	鵜沼
18	2026/11/2	月	3	(講) 法医学講義 3 (仮)	鵜沼
19	2026/11/9	月	1	(講) 医療と法律 1 (仮)	水沼
20	2026/11/9	月	2	(講) 医療と法律 2 (仮)	水沼
21	2026/11/9	月	3	(講) 医療と法律 3 (仮)	水沼
22	2026/11/16	月	1	(講) 死亡診断書 (死体検案書) の書き方 1	原田
23	2026/11/16	月	2	(講) 死亡診断書 (死体検案書) の書き方 2	原田
24	2026/11/16	月	3	(講) 死亡診断書 (死体検案書) の書き方 3	原田
25	2026/11/30	月	1	(演) 法医学演習 (事例分析) 1	全員
26	2026/11/30	月	2	(演) 法医学演習 (事例分析) 2	全員
27	2026/11/30	月	3	(演) 法医学演習 (事例分析) 3	全員

【担当教員】

教員氏名	職	所属
原田一樹	教授	福島県立医科大学医学部法医学講座
西形里絵	准教授	福島県立医科大学医学部法医学講座
加藤菜穂	助教	福島県立医科大学医学部法医学講座

武田紗希	助教	福島県立医科大学医学部法医学講座
鵜沼香奈	非常勤講師	東京科学大学法医学分野 教授
水沼直樹	非常勤講師	東京神楽坂弁護士事務所 弁護士

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する